

マンダムグループの沿革

▶ 経営全般 ▶ 研究・商品開発・マーケティング

1927-1969

- 1927.12 ▶ 「金鶴香水株式会社」設立
- 1932.11 ▶ 西村新八郎、取締役社長に就任
- 1933. 4 ▶ 「丹頂チック」発売
一世を風靡する大ヒット商品となり、企業基盤を確立
- 1958. 4 ▶ フィリピン・マニラ市にて海外事業の第一歩となる
技術提携会社、丹頂コーポレーションが稼働
- 1959. 4 ▶ 社名を「丹頂株式会社」に変更
- 1961. 5 ▶ 西村彦次、取締役社長に就任
- 1966.11 ▶ 会長 西村新八郎逝去(3日)
- 1969.11 ▶ インドネシア・ジャカルタ市に合併による現地法人
P.T.Tancho Indonesia を設立
(現・連結子会社 PT Mandom Indonesia Tbk)

1970-

- 1970. 6 ▶ 輸出貢献企業として通商産業(現・経済産業)大臣の
表彰を受賞('71、'72年にも受賞)
- 7 ▶ 「マンダムシリーズ」発表会を開き、
9品種10品目の発売を発表
キャラクターには日本で初めてハリウッドスターを
起用(チャールズ・ブロンソン氏)
- 1971. 4 ▶ 社名を「株式会社マンダム」に変更
- 1972.10 ▶ 日本ドクタ・ルノー化粧品(株)設立
(現・連結子会社(株)ピアセラボ)
- 1976. 3 ▶ 福崎工場が竣工、操業開始
- 1978. 5 ▶ 代理店経由販売から、販売店直接取引(直販)に移行
7 ▶ 「ギャツビー」「スポルディング」、業界で初の2ライン
同時発売

1980-

- 1980. 4 ▶ 販売店直接取引(直販)から、代理店経由販売に移行
8 ▶ 西村育雄、取締役社長に就任
- 1982. 4 ▶ 第1次中期5カ年経営計画(MPプロジェクト)スタート
9 ▶ 美容院ルートに新しいヘアケアシステムの提案となる
「バリアッチ」ライン発売
- 10 ▶ インドネシアにて「ピクシー」発売
- 1983. 4 ▶ 新しいCIシステムの導入により、
シンボルマークなどの外見要素を変更
- 1984. 4 ▶ 情報カードシステムを導入
7 ▶ 女性マス市場への第1弾として、
ティーンズ向け「ピュセル マイリップ」発売
- 1985. 2 ▶ 訪問販売による女性化粧品市場参入のため
(株)ミック設立
3 ▶ 店頭販売初の男性用ヘアフォームを発売し、
3代目「ギャツビー」へと全面リニューアル
- 1986. 1 ▶ 社外監査役の設置
9 ▶ 福崎工場エアゾール棟建設

- 1987. 4 ▶ 第2次中期3カ年経営計画スタート
11 ▶ インドネシアにて女性コスメティック
「ピクシー モイスチャーリップスティック」発売
- 1988. 2 ▶ シンガポールにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation (Singapore)
Pte. Ltd.)
11 ▶ 株式を店頭公開
▶ 公募増資により50万株を発行
- 1989. 3 ▶ 主力フォーム、(財)日本環境協会より
業界で初のエコマーク認定
9 ▶ 業界で初めての無香料男性化粧品「ルシード」発売
▶ 日本ドクタ・ルノー化粧品(株)を(株)ピアセラボに社名変更
- 12 ▶ 台湾にて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Taiwan Corporation)

1990-

- 1990. 4 ▶ 第3次中期3カ年経営計画スタート
▶ タイにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation (Thailand) Ltd.)
7 ▶ 販売助成金の廃止による建値の改正
- 1991. 4 ▶ マンダム東京支店ビル竣工
- 1992. 2 ▶ フィリピンにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Philippines Corporation)
9 ▶ 選別流通による化粧品販売会社として(株)エムザ設立
- 1993. 2 ▶ マンダム本社ビル第1期工事竣工 新社屋で営業開始
4 ▶ 第4次中期3カ年経営計画スタート
7 ▶ 香港にて現地合弁会社スタート
(現・持分法適用関連会社 Sunwa Marketing Co., Ltd.)
9 ▶ 無香料女性ヘアメイクライン「ルシードエル」発売
▶ P.T.Tancho Indonesia Tbk、ジャカルタ証券取引所
(現・インドネシア証券取引所)に上場
- 10 ▶ フランスのエステティック化粧品販売会社として
(株)ギノージャパン設立
- 1994. 6 ▶ マンダム本社ビル、第2期工事を終え完成
- 1995. 6 ▶ 西村元延、取締役社長に就任
▶ 社外取締役の設置
- 1996. 4 ▶ 第5次中期3カ年経営計画スタート
▶ グループ会社の化粧品輸入製造会社として
(株)ピューコス設立
▶ ホームページ「マンダムワールド」開設
- 12 ▶ 中国にて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Zhongshan City Rida Cosmetics
Co., Ltd.)
- 1997. 1 ▶ マレーシアにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd.)
4 ▶ (株)公南サービス設立(現・(株)エムビーエス)
- 1998. 8 ▶ 170万株の自社株公開買付を実施



1999. 1 ▶ 女性用敏感肌スキンケアライン「システムE/O」を通信販売で発売
 3 ▶ 「ギャツビー」が男性化粧品ブランドとしては業界初の100億円の売上を突破
 4 ▶ 第6次中期3カ年経営計画スタート
 8 ▶ 韓国にて現地合弁会社スタート
 (現・連結子会社 Mandom Korea Corporation)

2000-

2000. 5 ▶ 取締役相談役 西村育雄逝去(23日)
 8 ▶ 単元株式数を1,000株から100株に変更
 11 ▶ 福岡工場と物流センターで環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得
 2001. 3 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk チビトン工場稼働
 ▶ 「ギャツビー ヘアカラーシリーズ」発売により男性黒髪用ヘアカラー市場を創造
 6 ▶ 執行役員制度導入
 8 ▶ 233万株の自社株公開買付を実施
 2002. 1 ▶ 東京証券取引所市場第二部に株式上場
 3 ▶ マンダムグループ東京日本橋ビル竣工
 ▶ 「ギャツビー」ヘアカラーCM、総合第1位
 (CMデータバンク:首都圏CM好感度調査)
 4 ▶ 第7次中期3カ年経営計画スタート
 5 ▶ アジア地域で「ギャツビー」「ルシードエル」の水平展開をスタート
 2003. 1 ▶ 名誉顧問 西村彦次逝去(25日)
 3 ▶ 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
 ▶ 公募増資により165万株を発行
 10 ▶ 福岡工場がゼロエミッションを達成
 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk
 「インドネシアEVA(経済的付加価値)優良企業賞」を受賞('04、'05、'06年にも受賞)
 2004. 2 ▶ マンダム商品(ギャツビー EXハイブリーチ)の熱傷事故により商品の自主回収を実施
 3 ▶ 福岡工場・物流センター・生産技術室が労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)の認証を取得
 10 ▶ 日本通運(株)に3PL(サードパーティロジスティクス)業務を委託
 2005. 2 ▶ 100%子会社(株)エムザを吸収合併
 3 ▶ 100%子会社(株)ミックの全株式をBHL社へ譲渡
 4 ▶ 第8次中期3カ年経営計画スタート
 6 ▶ 役員退職慰労金制度の廃止
 11 ▶ アルカンジオール配合の「防腐剤フリー(防腐剤無添加)処方」を開発
 ▶ 女性化粧品自社開発第1号「パーフェクトアシスト24」発売
 2006. 8 ▶ 「ギャツビー ムービングラバー」を発売し、7代目「ギャツビー」へと全面リニューアル開始

2006. 8 ▶ 33万株の自社株取得
 11 ▶ マンダム本社ビルR&D棟竣工
 2007. 1 ▶ 2009年の裁判員制度導入に向けて就業規則を改定
 2 ▶ 東京証券取引所「第12回(平成18年度)ディスクロージャー表彰」受賞
 12 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk 年間売上1兆ルピア達成
 2008. 4 ▶ 第9次中期3カ年経営計画スタート
 5 ▶ 中国にてMandom China Corporation設立(連結子会社)
 2009. 3 ▶ 首都圏営業拠点を再編
 (マンダム東京支店ビル、マンダムグループ東京日本橋ビル、マンダム日本橋馬喰町ビルを売却)
 4 ▶ (株)ビューコス(株)エムピーエスに吸収合併
 7 ▶ 88,800株の自社株取得

2010-

- 2010.10 ▶ 100%子会社(株)キノージャパンの全株式をワミレスコスメティックス(株)へ譲渡
 2011. 2 ▶ 「ルシード」エイジングケアブランドへ全面リニューアル
 4 ▶ 第10次中期3カ年経営計画スタート
 8 ▶ 「ギャツビー」グローバルサイトおよびフェイスブックページを開設
 ▶ 女性コスメティックブランド「ビフェスタ」を発売
 2012. 3 ▶ インドにてMandom Corporation (India) Pvt. Ltd.設立(連結子会社)
 2013. 8 ▶ 「ギャツビー ヘアジャム」を発売し、ヘアワックスに次ぐ新剤型を提案
 2014. 2 ▶ ミドル脂臭対策の「ルシード ニオイケアシリーズ」発売
 3 ▶ 福岡工場の生産棟を増設
 4 ▶ 第11次中期3カ年経営計画スタート
 2015. 1 ▶ ベトナムにてMandom Vietnam Company Limited 設立(連結子会社)
 6 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk本社・工場をジャカルタからブカシに移転
 7 ▶ 大阪大学に「先端化粧品科学共同研究講座」を設置
 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk工場にて犠牲者を伴う火災事故が発生
 10 ▶ 「コーポレートガバナンス ガイドライン」を公表
 2016.10 ▶ 先端化粧品科学共同研究講座においてヒトの汗腺幹細胞を発見し、生体外での汗腺様構造体の再生に成功
 2017. 4 ▶ 従来の企業理念を見直すと共に、100周年にあたる2027年でのありたい姿「VISION2027」を策定
 ▶ 第12次中期3カ年経営計画スタート
 ▶ 働き方改革の一環として、「在宅勤務制度」を導入
 10 ▶ 株式分割を実施
 (普通株式1株につき、2株の割合をもって分割)

